取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

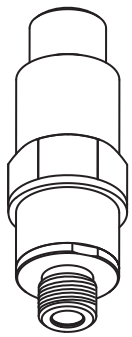
DXアンテナ

UHFブースター

屋外用　地上デジタル放送専用
DC15V重畳電源方式(※)

U20L3C

UHF 20dB形



ブースター本体

こんな場合におすすめ

ケーブルの伝送損失や、分配損失の補償に。
ブロックノイズの解消にも効果があります。

UHF信号が90dBμV(9波)の伝送ができます。
受信品質(C/N比)を確保して、伝送路の分配損失を補います。

(※) この製品には電源は付属していません。

製品の特長

- **受信品質(C/N比)を確保。**
  アンテナ直下で受信品質を確保しますので、アンテナケーブルの配線距離が長くても受信品質の劣化を最小限に抑えることができます。
- **低雑音設計。**
  雑音指数(NF) 1.0dB以下を実現したローノイズ設計です。
- **調整が不要です。**
  アンテナの出力端子に直接接続するだけです。
- **省施工・環境保全に寄与**
  小形・筒形形状により、取付作業性が向上しました。
  なお、この製品は土壌汚染・大気汚染など環境に影響を与える物質や人体に悪影響を及ぼす物質を使用しない事など厳しい自社基準をクリアーしています。

安全上のご注意

	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠ 警告　この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- テビ受信関連工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。

- 電源は、必ずDC15Vを使用してください。異なる電圧で使用すると、火災や感電、故障の原因となります。
  また、使用する直流電源装置やテレビ等の使用方法にしたがって、正しく電源を供給してください。

- 高所などに設置する場合は、足場と安全を確保し、作業時は手袋をするなど安全対策をしてください。
  落ちたり、すべったり、けがの原因となります。

●風の強い日や雨、雪、雷などの天候が悪い日や、暗い所では危険ですので設置工事や点検をしないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

●この製品に接続する同軸ケーブルにはテレビ電波以外に電流が流れますので、途中には通電形機器以外は絶対に挿入しないでください。また、通電形機器を挿入する場合は通電端子をよく確かめてお使いください。もし、非通電形機器を挿入しますと、回路やケーブルがショートして、火災や感電の原因となります。

● 同軸ケーブルなどを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、(熱器具に近づけたり)引っぱったりしないでください。火災や感電の原因となります。同軸ケーブルなどが傷んだときは（心線の露出、断線など）お買い上げの販売店もしくは工事店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電などの原因となります。

● この製品を分解したりしないでください。また、お客様による修理や改造はしないでください。感電やけがの原因となります。また、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。

● 万一、煙が出たり、変な臭いがする場合は、すぐにこの製品への電源供給を止めてください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。煙や臭いがなくなるのを確認して販売店もしくは工事店に修理をご依頼ください。

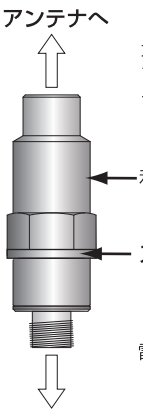
● 接栓の締め付け力(トルク)に指定がある場合は、その力(トルク)で締め付け、堅固に取り付け固定してください。落下や破損して、感電やけが、故障の原因となります。

● 雷が鳴り出したら、この製品には触れないでください。
感電の原因となります。

使用上のご注意　取付作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえで行なってください。

●この製品は地デジ放送（13～52ch）専用です。BS･110度CS放送、FM放送の信号は通過しません。
●この製品には電源が必要です。(電源は付属していません)　お客様のシステムに応じてテレビやデジタルレコーダー等の電源供給機能を使用したり、同軸線重畳式の直流電源装置を使用してください。(この製品が必要とする電源：DC15V、30mA)
● 別途BS･110度CSアンテナを設置してBS･110度CS放送をご覧になる場合で、直流電源装置により電源を供給するときは1032MHz～2150MHzの帯域を通過する電源装置を使用してください。
●次のような受信環境の場合、この製品を使用しても効果が得られない場合があります。
・強電界地域　・複数のテレビ電波を受信可能な地域(マルチパスといいます)　・ビル等の反射波の影響や、混信がある地域
●受信品質(C/N比)が低いために地デジ放送が見られない場合は、この製品を使用しても地デジ放送が映るようにはなりません。
●この製品を落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。
●直流電源装置を使用する場合は、異常が生じたときにすぐに電源プラグを抜くことができる場所に設置してください。
● アンテナからこの製品への入力レベルは70dBμVを超えないようにしてください。このレベルを超えると、テレビ画面が黒くなって受信できなくなることがあります。(ブラックアウト)このような場合は、まず、テレビ等のCS/BSコンバーター用電源からの電源供給を止め（または直流電源装置を取りはずして）、次にこの製品を取りはずして受信してください。

各部の名称と機能



アンテナへ

地デジアンテナの出力端子(F形座)に接続します。
アンテナの出力端子がF形でない場合は(ケーブルの心線を直付けするタイプの場合は)、同軸ケーブルを加工する必要があります。(最終ページの取付方法をご覧ください。)

利得20dBの増幅器です。

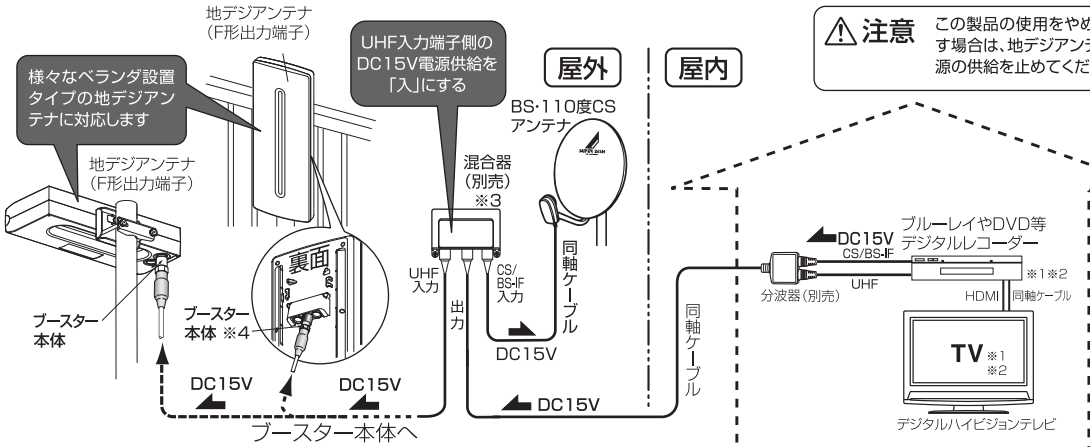
ストッパー：防水キャップをここの根元までかぶせてください。(ストッパーを超えないでください)

電源は同軸ケーブルを通じて、テレビやデジタルレコーダー、直流電源装置等から供給します。
(DC15V、30mA)

直流電源装置、またはテレビやデジタルレコーダー等へ

使用例

〈テレビやデジタルレコーダーから電源を供給する場合〉(CS/BSコンバーター用電源供給機能を使用)



⚠注意 この製品の使用をやめる場合など、ブースター本体を取りはずす場合は、地デジアンテナに直接電流が流れないように、先に電源の供給を止めてください。

※1：デジタルレコーダーなどのCS/BSコンバーター用電源を「入」にしてください。

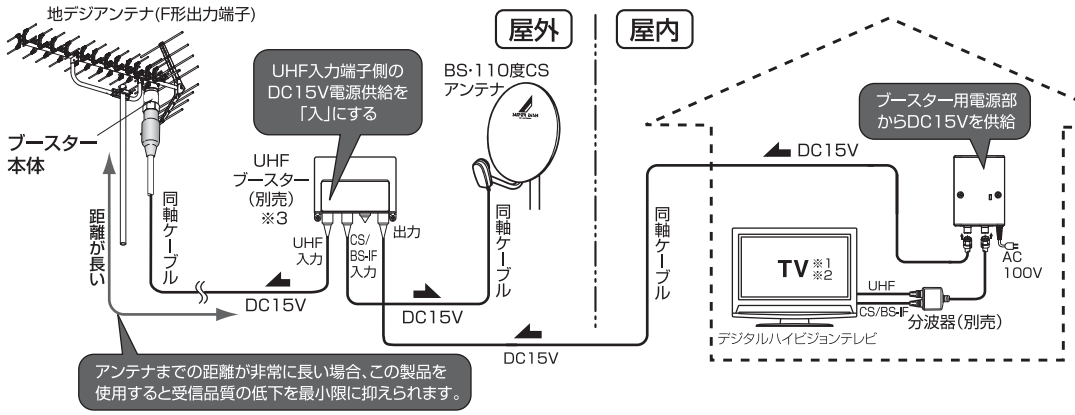
※2：この製品を設置しても、TVなどに表示される「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値(指標)が変わらない場合や下がる場合がありますが、この製品の不具合ではありません。

※3：混合器はUHFアンテナ側に電源(DC15V)を供給できるものを使用してください。

※4：出力端子が真下を向いていないアンテナに接続する場合は、防水キャップの加工と、ビニルテープによる防水処理が必要です。(最終ページ)

〈ブースター用電源部から電源を供給する場合〉

アンテナを遠方に設置する場合、アンテナ直下で(この製品で)受信品質(C/N比)を確保し、後段のブースターで宅内の分配損失(レベルの低下)を補償します。



※1：テレビなどのCS/BSコンバーター用電源を「切」にしてください。

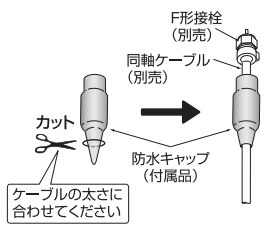
※2：この製品を設置しても、TVなどに表示される「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値(指標)が変わらない場合や下がる場合がありますが、この製品の不具合ではありません。

※3：ブースターはUHFアンテナ側に電源(DC15V)を供給できるものを使用してください。

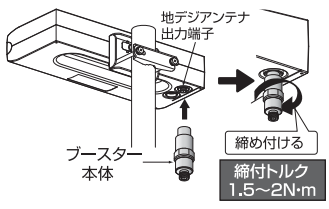
取付方法

〈F形端子に接続する場合:通常の接続方法です〉

①防水キャップを同軸ケーブルの太さに合わせて先端をカットします。次に同軸ケーブルに通し、F形接栓を取り付けてください。

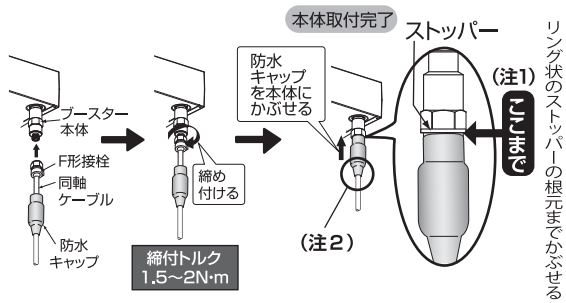


②ブースター本体を地デジアンテナの出力端子に接続してください。



⚠落下注意
取付作業中にブースター本体が落下しないように注意してください。

③ブースター本体に同軸ケーブルを接続してください。



(注1) 防水キャップはストッパーを超えないようにしてください。
(注2) 防水キャップのカットした部分と同軸ケーブルにはビニルテープを巻かないでください。

④ブースター本体に電源を供給してください。下記 例) 1～3の方法があります。

例1) ブースター用電源部を使用する場合 (注4)

例2) テレビ等のCS/BSコンバーター用電源を使用する場合 (注4)

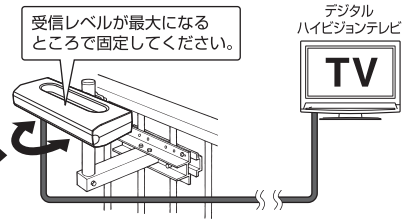
テレビやブルーレイレコーダーなど、**常時**DC15Vが供給可能な機器のアンテナ入力端子と、この製品を同軸ケーブルで接続してください。
次にテレビ等のCS/BSコンバーター用供給電源を「ON」または「入」に設定してください。

例3) 別売の直流電源装置を使用する場合

別売または市販の直流電源装置(推奨:PS-1501)を、取扱い方法にしたがい接続してください。

(注3) ご使用の電源部の取扱い方法にしたがい接続してください。
(注4) UHF側にDC15V電源を供給できるブースターや混合器が必要です。

⑤テレビ等のアンテナ設定画面を見ながら、アンテナの方向を調整してください。



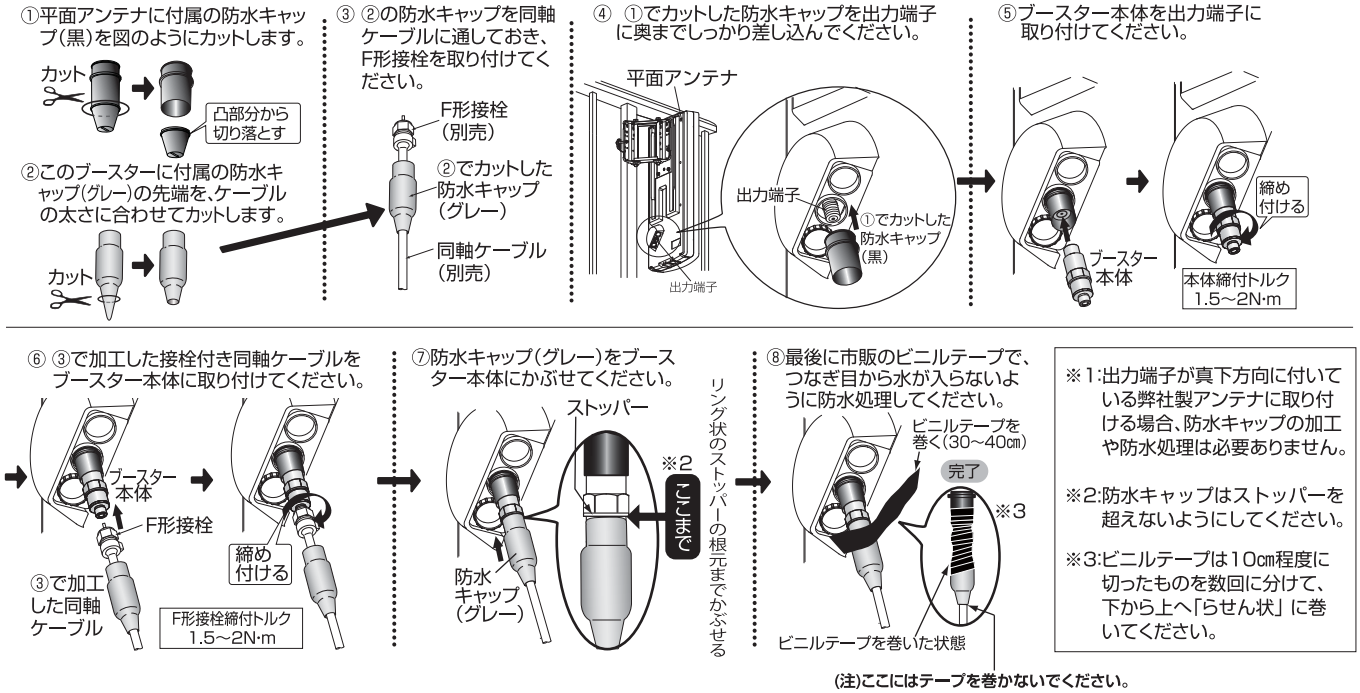
この製品を設置しても、TVなどに表示される「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値(指標)が変わらない場合や下がる場合がありますが、この製品の不具合ではありません。

取付方法のつづき

〈UAH810/UAH900への取付方法〉※1

弊社の地上デジタル放送用平面アンテナ（UAH810/UAH900）にこの製品を接続する場合は、防水キャップの加工と市販のビニルテープによる防水処理が必要です。下記手順に従って加工・接続をしてください。

なお、説明の中でアンテナおよびアンテナに付属の防水キャップのイラストはUAH900を代表例としています。（UAH810も同様の加工をしてください）



(注)ここにはテープを巻かないでください。

※1:出力端子が真下方向に付いている弊社製アンテナに取り付ける場合、防水キャップの加工や防水処理は必要ありません。

※2:防水キャップはストッパーを超えないようにしてください。

※3:ビニルテープは10㎝程度に切ったものを数回に分けて、下から上へ「らせん状」に巻いてください。

〈心線直付けタイプのアンテナへの取付方法〉

UHFアンテナの出力端子が同軸ケーブルの心線を直付けするタイプ（Ωバンドタイプ）の場合は、この製品を直接アンテナに接続することはできません。この場合、20㎝程度の同軸ケーブルをアンテナの取扱方法にしたがい給電部に接続し、もう片側にF形接栓を取り付けて、中継用接栓（弊社品番：F-FSN）を使用してこの製品を接続してください。最後に、接栓およびつなぎ目に水が浸入しないようにビニルテープをらせん状にしっかり巻きつけて、防水処理をしてください。

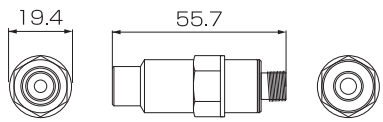
規格特性

品名	UHFブースター	VSWR	3.0以下
品番	U20L3C	雑音指数 (dB)	1.0以下
使用帯域	UHF	入出力インピーダンス (Ω)	75（F形）
使用チャンネル (ch.)	13～52	重畳電源 (V/mA)	DC15（同軸線重畳式）/30
使用周波数 (MHz)	470～710	使用温度範囲 (℃)	−20～+50
標準利得 (dB)	15～20	外形寸法 (㎜)	55.7（H）×19.4（φ）
定格出力 (dBμV)	90（9波）	質量 (g)	40

■付属品　防水キャップ・・・・・1個

規格は改良により、予告なく変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

外形寸法図



（単位：㎜）

※この製品を処分するときは、産業廃棄物として処理してください。

カスタマーセンター フリーコール **0120-941-542**

〔受付時間　9：30～12：00/13：00～17：00　土曜・日曜・祝日および夏季・年末年始休暇は除く〕

携帯電話・PHS・一部のIP電話で上記番号がご利用になれない場合 **03-4530-8079**

ホームページアドレス　http://www.dxantenna.co.jp/

DXアンテナ株式会社　本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号

(2011年2月)

4679-2